

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	2ndさくら（児童発達）		公表日		R 8年 3月 31日		利用児童数		29		回収数		29	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28		1		十分なスペースだったと思います 利用者人数もちょうどいいように、園内外共に確保できているよい環境だと思います							
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1		3	一人ひとりについてくれている							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	25	2		2								
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1		1	不潔に感じることはありません 楽しんでいるのでそう思う							
適切 な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28			1	毎回の様子のお知らせで、詳しく苦手なことや声掛けをどのようにされたか教えて頂き、助かっています 子どもに合わせた伝え方がわかりやすいと思う							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			1								
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27			2	子どもに合った課題が作成されていると思います							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			2	保護者の目線では気付かないところまでできず、工夫された支援がされています							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27			2								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	3			毎回活動内容が違っているので、いいなと思います							
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	20	2		7	幼稚園に通っており、兄の習い事についていき、同じ年齢の子たちとサッカーをして遊ぶこともある							
保護 者へ の 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28			1	わかりやすい説明でした 丁寧な説明を受けました							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28		1									
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	28			1	情報提供の機会が多くある印象です 平日だと仕事の都合がなかなかついておらず、参加できていません							
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1			連絡帳により伝え合いはできているが、共通理解できているかはわかりません ノートを通して共有出来ていると感じます 非常に詳しく書いてあり、助かっています							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1		3	面談などないからわかりません 不安を話しやすい言葉かけをしていただき、共感、肯定のうえで助言があるので助かります	面談や相談対応として、年2回モニタリングのほか、ご家族の状況やニーズに合わせて来所や会議、茶話会の時など柔軟に対応しています						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29				連絡帳での困りごとを記入した際、共感して頂いている							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	1		8	まだ参加していない	令和8年度には兄弟児支援につながるイベントができるよう、検討していきます						
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2		3	努力されていると思います 機会があれば相談させていただきま す							
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1		3	記録を読んで、こういうところできなかった、等の報告がありますが、できるようにするためにどんなか、練習が必要なのか共有できると家でも取り組みやすいと思いました 子どもが思い通りの行動をしない際のかえかへの工夫がなされている								

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	2	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	2	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26		3	火事の避難訓練があり、様子を伝えてくれました 水害を想定した訓練が6月に実施されています	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1	2	体調不良の連絡を受け、迅速な病院受診につながりました	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1		親子ともども不安不満はない	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	25	3	1	毎回楽しみにしています 道を通るたびにさくらだといいます	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29			専門性の高い支援を楽しんで受け、学んでいます 工夫して楽しく取り組ませてもらえると感じます 毎日の様子で写真付きの詳しい様子を教えて頂き、私としても安心して預けられています。また、困ったことがあった時は相談にのってくれる場があるんだという安心感もあります 成長を感じるので満足しています	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	2ndさくら（児童発達）		公表日	R 8年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		活動内容に応じて部屋を分けており、十分なスペースがある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		子どもの年齢や状況、その日の活動内容によって配置を行うようになっている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		個別学習の部屋、サーキットの部屋など部屋わけを行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		日々清掃を行い、心地よく過ごせる環境を心掛けている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13		日々のミーティングで共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		アンケート調査を実施し、保護者等の意見に対して早急に対応するよう努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		13		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		様々な研修の機会が確保されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13		アセスメント表、ニーズ表などをもとに、作成を行っている	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13		支援計画に基づき課題の設定を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		子ども一人ひとりに応じた支援内容が設定されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		年間計画にのっとり、チームで活動内容を考えられるよう努めている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		子どもの発達状況や季節などに応じて活動を考えるようになっています	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13		年長児は就学に向け、集団活動を多く取り入れるなど工夫を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		前日までに確認を行うようになっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		気付いた点を共有する、記録するようになっている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		療育記録にごまかく記入を行い、次につながる支援ができるよう心掛けている	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		モニタリング期間に則り、見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		児発管と担当スタッフで参加するようにしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13		サポートブックの作成や会議等により情報共有を行っている	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	13			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		療育ノート、会議、電話、LINE等にて状況を伝え合っている	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13		ペアレントプログラムを年6回行っている 家族療育を年3回行っている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		契約時にしっかり説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		会議、面談、ノート、LINE、電話などですぐに対応を行うよう心掛けている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13		茶話会を実施し、和やかな雰囲気のもと、保護者同士のつながりを大切にしている	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		スタッフ間で話し合い、すぐに対応を行うよう心掛けている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		毎月おたよりを発行している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		おたよりでは写真掲載についての同意書をいただいている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		個々に合わせてイラストや写真、文字や実物を使っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13			

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		定期的に避難訓練、災害発生時についての研修を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		確認後、状況に応じ、マニュアル作成を行っている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		迅速に職員間で共有を行い、再発防止に向けた話し合い、対策を考えるようにしている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		虐待チェックリストを使い、虐待防止に努めている 虐待防止研修の機会を設けている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	2ndさくら（児童発達）		
○保護者評価実施期間	R7年11月10日		R7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	R7年11月10日		R7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	R7年11月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の療育の記録を丁寧にわかりやすく書いている	療育記録にい写真も載せ、細やかに記録をとるよう心掛けている	保護者の方が見やすい記録を心掛けていく
2	家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を心掛けている	ペアレントプログラムを行っている 保護者に向けて、就学に向けた勉強会やサポートブックの書き方の勉強会を行っている	兄弟支援も行えるよう、アンケートの実施や話し合いを重ねていく
3	家族からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を心掛けている	送迎時、面談・会議の際、または電話やLINEで相談をしていただき、スタッフ間で話し合いを行った上で助言や支援を行うよう心掛けている 家族療育を年3回行っている	家族交流会の定期的な開催を心掛けていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	2ndさくら（放課後等デイサービス）
------	--------------------

公表日 R 8年 3月 31日

利用児童
数

61

回収数

58

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	50	1		6		
	2	44	2		11		・利用児童の特性や発達状況に合わせて配置を行っています。 ・保育士・児童指導員・計13名、うち児童発達支援管理者2名で療育にあたっています
	3	50	2		5	情報の見える化にも取り組んで頂いて、子どもも安心して過ごせています	
	4	55	0		2	色々なお部屋があり、子どもたちが好きな部屋で楽しく活動できるよう工夫されていると思います	
適切 な 支 援 の 提 供	5	57		1		・子どもの課題に合わせ、その力を引き出して頂けるよう、働きかけをされていると思います	
	6	55	1		2		
	7	58				・定期的なモニタリング、面談があり、家族の意向をくんで計画されています	
	8	55	2		1		
	9	54	1		3		
	10	51	4		3	子どもの好きなこと、楽しいことを引き出しながら活動されています	
	11	30	4	7	17		登録している子ども全員が八代市内の小中高校支援学校に在籍しており、日頃から交流を持つことができている。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	58					
	13	57			1		
	14	55			3	毎回プリントやLINEでお知らせを頂いています	
	15	58				その時期の状態をごまめに伝え合い、ご対応いただいているので助かっています	・保護者の方がお迎えにみえる際、口頭でその日の様子を伝えるようにしています。その日の様子をLINEでお伝えしているご家庭もあります
	16	55	2		1	悩みに対して想いを汲んでくださり、助言もきちんと頂いているので助かります	
	17	57		1		いつも悩みばかりなので、先生方の言葉に安心します	
	18	46	4		8		・お仕事をされているご家庭も参加して頂けるよう、開催日時の早期周知を図るなど工夫していきたいと思えます
	19	54	1	1	2	いつでも相談しやすい環境が整っているので安心しています	
	20	55		1	1	利用児に顔を合わせ、しっかり様子をお話し、伝え合うことができます	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	48	5		5	連絡もこまめで、プリントの情報もあるので助かります	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	56	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	48	2	1	7	利用時にきちんと訓練されていることがお便りなどでわかります マニュアルはあまりみることがわかり	・マニュアル等、玄関に設置しています。提示の仕方を検討いたします
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	54			4		・今年度も、洪水を想定した避難訓練・地震火事を想定板避難訓練を行っています。おたよりやLINEを通し、避難訓練の事前通知や事後報告を行いながら、周知の徹底に努めています
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	52	1	1	4	子どもの状況に合わせ、しっかりと安全に配慮いただいております	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	52		1	5	その日にあったことや出来事など丁寧に話してくれます	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	56		1	1	いつも先生方に優しくいただき、安心して通所しています	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	50	5	3		とても楽しみにしています。最近はお月火木を覚えてきているようです 本人は週2、3回利用したいと言っています 楽しい活動も計画されていて、楽しみにしています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	56		1	1	いつもありがとうございます。いろいろと助かっています 今後ともよろしくお願いします いつも子ども保護者への対応も優しく丁寧であります	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		2ndさくら（放課後等デイサービス）			公表日	R 8年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		活動に合わせた環境設定や部屋わけをしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		子どもの発達状況や状態等に応じてスタッフを配置しています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		段差をなくした建物の設計になっている。 子どもが安全に過ごせるよう環境設定が行われています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		日々の清掃や消毒など時間を設け全員でとりにくんでいる 毎日出勤職員全員でミーティングを行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		子どもの状況や様子に応じて、個室の使用、パーティーションでの環境設定等を行っています	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13		日々のミーティングで共有している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		保護者向け評価表を実施し、保護者の方からいただいたご意見に対し、早急に対応するよう努めている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		毎日ミーティングを行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		13	意見箱を設置している	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		様々な研修の機会が確保されている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13		保護者の方と会議や面談、連絡ノート、送迎時のやりとりを通して、常に課題やニーズを把握できる環境である	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13		子ども一人ひとりに応じた支援内容が設定されています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		活動内容を全体で共有している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		毎日話し合いながら工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13		毎日話し合いながら工夫している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		チームで、より具体的なイメージを共有できるよう、ミーティングを重ねている 毎日ミーティングを行い、支援の内容、タイムスケジュール、役割分担など確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		翌日や次の利用日までに時間を設け、振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		毎回記録をとり、振り返りを行うことで改善につなげている	

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13		定期的にモニタリングを実施し、利用児の現状にそった計画を作成できるよう努めている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	13			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		子どもの自己選択、自己決定を意識した支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		会議には児発管と子どもをよく理解したスタッフが参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13		相談員や教育、行政など、その子とご家族を支援する輪を広げよう意識している	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13		保護者や学校と連携し、対応している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13		児童発達支援も行っているため、より丁寧な情報共有を行うことができている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	13			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13		強い困り感になる前に、児童発達支援センターに連絡をいれ、助言アドバイスを頂いている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	13		地域の行事に積極的に参加している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13		八代圏域通所支援会議には参加しており、圏域の他の事業所との交流を行っている。 協議会への参加は圏域の事業所で持ち回りでおこなっている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		お迎え時に直接お伝えしている お伝え出来なかった際は電話やLINEなどにて対応している	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13		ペアレントプログラムを年6回開催している	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13		契約時に行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13		利用されている方はもちろん、利用を終了されている方のご相談にも適切に面談等対応しています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13		茶話会を実施し、和やかな雰囲気のもと、保護者同士のつながりを大切にしている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13		子どもや保護者からのご意見があがったときは、全職員で対策を検討し、実施するよう努めている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13		毎月おたよりを発行している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		おたより掲載の際の写真掲載の同意書をいただいている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		子ども一人ひとりにあわせてイラストや写真、文字、手話、言葉を使うよう考えている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13		地域のお祭りに参加する、長期休暇のお手伝いの先生や地域の方と交流を図っています	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13		定期的に避難訓練や職員研修を行っている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		事業所内での様子はもちろん、お迎えの際に学校での様子の確認を行うようにしている 事業所内で発作対応のマニュアルを作成している
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13		契約時に確認している
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		ヒヤリハットをミーティングで共有し、改善を考えている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		虐待チェックリストを使い、虐待防止に努めている 虐待防止研修を行っている
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	2ndさくら（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R7年11月10日		R7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 58
○従業者評価実施期間	R7年11月10日		R7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	R7年11月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携しての支援を心掛けている	チームで、より具体的なイメージを共有できるよう、ミーティングを重ねている	支援の内容、タイムスケジュール、役割分担など様々な確認を心掛けていく
2	自己決定をする力を育てるための支援を心掛けている	子どもの自己選択、自己決定を意識した支援を心掛けている	様々な日常生活を考えさらに幅広く取り組んでいく
3	家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を心掛けている	ペアレントプログラムを開催している	兄弟支援も行えるよう、アンケートの実施や話し合いを重ねていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
児童発達支援事業所 さくら（放課後等デイサービス）		令和8年3月31日				令和8年3月10日現在		29	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
			いいえ						
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	1	1	・他の子には十分な空間だと思います。	【事業所より】 ・限られたスペースでの活動ですので、少しでも広く活動できるよう、環境整備を心掛けていきます。 ・環境整備やスタッフ研修、安心してご利用いただけるよう努めます。 ・その時その時で、必要に応じての環境作りに努めていきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	1	3	しっかりと見ていただいていると思います。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	2	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26		3	・我が子が特別手がかかる子なので、他の子より空間が必要なだけだと思います。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1	1	・様々な活動内容を提案いただいています。 ・子どもの気分次第なので、支援する側は大変だと思います（理解が不十分）。	【事業所より】 ・研修の場や様々な機会を通して、専門的知識のみならず、様々な観点から学びを広げ、深めていきたいと思っています。 ・一人一人の子どもと向き合い、様々な自立をに向けた支援、将来に向けた支援、に取り組んでいきます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29		1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29			・面談の際しっかりと聞き取りされて、その時に必要な課題の提供がされていると思います。			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29			・ガイドラインを私がいまだに理解できていないのですが、本人・家族の支援はしっかりといただいています。			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	5	2	7		・なかなか難しいのかなと思います。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29				【事業所より】 ・思春期の子どもが多いという事もあり、実態については難しい面もあります。子ども達のそれぞれの状況に応じての交流を進めていきたいと思っています。 ・長期休みには同じ空間での活動への取り組みを行っています（演奏会視聴など）。 ・長期休み等を活用し、施設に併設している高齢者施設を活用したり、地域の児童館等、一緒に活動する機会を設けていきます。 ・様々な方々・場所での交流に関しては、おたよりなどでしっかりお伝えしていきたいと思っています。		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29			・面談の時にいただいています。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	2	2	・プリントなどで情報はいただいています。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29			・ノート・LINE等で普段から情報共有がとめてきて安心しています。お迎えの時に事業所での様子をしっかりと伝えていただいている、私の悩も聞いていただいていると思います。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29			・助言は、相談の際はしっかりといただいて有難いです。 ・個別の面談が定期的にあります。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1		・スタッフの方々はいつも親身に寄り添ってくれます。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	17	4	2	6		・保護者の交流会は設けられています。 ・お迎えの時、一緒に待っている時にお話する事があります。 ・兄弟同士の交流は難しいと思います。それぞれ津堂があるので…交流できれば良いことだと思います。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1	1	・相談等はすぐに対応していただきとても感謝しています。			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28		1				

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	1		3	・活動の内容は毎月のお知らせなどで文章や写真などで発信していただいています。 ・ホームページやSNSに関して確認していませんでした。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	4	1	3	・感染対策や事故防止はしていただいていると思います。 ・避難訓練の実施は把握しています。	[事業所より] ・長期休み等を利用して、避難訓練を行っています。今後も折を見て行っていきます。 ・お便りなどをとして、訓練の様子を伝えていきたいと思います。 ・マニュアルに関しましては、玄関先にファイルしておりますが、定期的に確認いただけるような状況も作ってきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	4		4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1		2	・体調の変化やいつも様子との違いが見受けられた時はすぐ連絡いただいています。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28			1	・毎日楽しそうに通えているのでありがたいです。 ・嫌がることなく行っているので安心していきます。	[事業所より] ・保護者の皆様からたくさんのお話が聞けるよう、コミュニケーションをしっかりとっていきたいと思っています。 ・さくらだから出来る事・さくらにしか出来ない事を、スタッフ一丸となって考え、満足いただけるよう努力してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1			・たまに口にするので楽しみなのだと思います。 ・嫌がることなく行っているので安心していきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	29				本人の気次第ですが、学校以外でのお供養と関わる唯一の場所なので難しいです。 ・スタッフの方の対応にいつも感謝です。 ・今後ともよろしく願っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 さくら（放課後等デイサービス）		公表日		令和 8年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	・棚の配置など工夫して、出来るだけ動きやすいようスペースの確保を心掛けています。 ・車椅子は通れる広さにしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	11	0	・スタッフ間で声のかけ合い等を密に行っています。子どもさんの様子によりマンツーマンの必要な状況があり、常にスタッフ同士声掛け合いながらの対応を心掛けています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11	0		・スロープ等は設置済みです。今後は利用される子どもさんの状況に合わせて随時対応を進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	・日々の清掃に取り組み環境を整えています。 ・活動に応じ場の設定を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	0	・個別のスペースは確保しています。 ・状況に応じ仕切りを活用することもあります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11	0	・屋礼や慣習の場で意識して取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・評価表より把握した点に関し確認し、対応を進めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	・屋礼の場での発信だけでなく、スタッフ用のBOXを設置しており、提案も含め自由に記載してもらって、スタッフ全員で共有しながら進めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	11	・現在、第三者評価機関による評価は未実施であり、今後進めていくようにしていきたいです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	・屋礼の時間を通して、子どもの状況確認・保護者の意思確認・現状確認などをできるだけ行うよう、時間の確保に心がけています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11	0	・気づきや様子を事前に情報交換出来るよう、共有できるよう、職員間でのやり取りを密にしています。気になった点等については、後日振り返りを行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11	0	・長期間の休みでは、担当を中心にプログラムの立案を進める必要があり、その際、漏れはないよう計画文章で確認を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	0	・活動内容や活動場所など、また、時代に合わせた動きなど、様々な方面からの活動を取り入れていけるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	0		

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	・屋礼を中心に確認し取り組んでいます。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	・終了後に報告等を行うと同時に、翌日の屋礼で必要に応じて確認等を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	・支援内容や状況について、記録として残し、次回に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	・半年ごとにモニタリングを行い、見直し次のステップに向けての確認を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	11	0		
関係機関や保護者との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	0	・一人ひとりに応じたコミュニケーションの方法で、自己決定に向けての取り組みを行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	0	・おたより等を通して情報提供、エンパワメント等心掛けています。関係機関などは、必要の応じ、連絡・報告をしながら進めています。日頃から直接話をする機会を短時間でも多くとれるよう心掛け、信頼関係を築き、本音を言いやすい雰囲気づくりを心掛けています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	0	・移行支援会議を通して情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	0	・移行支援会議を通して情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	0	・連携を図ると共に、事業所スタッフも研修を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	11	0	・長期休み等に、音楽視聴等の行事を通して交流の機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	0	・圏域で当番制にしているので、確実に情報共有をし、参加の形をとっています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	0	・送迎時・連絡帳・電話・LINE等様々な方法で共通理解を図っています。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0		・ペアレントトレーニングの参加を募りましたが今年度の希望はありませんでした。参加に繋がるようなお伝えを考えていきたいと思えます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11	0	・保護者や子どもの様子、相談等で発信された事項に関し、聞き取りを中心に進め、その状況に応じ支援援助などを行うよう心掛けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11	0	・今年度は2回の保護者交流会を行いました。 ・保護者や子どもの様子、相談等で発信された事項に関し、聞き取りを中心に進め、その状況に応じ支援援助などを行うよう心掛けています。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	・苦情としてはあがっていませんでした。 ・普段から保護者の方々の言葉に耳傾け、気付きをもって対応していく気持ちです。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	0	・おたよりを毎月発行し、行事予定や事務的連絡事項、子どもの活動の様子・スタッフの想いなどを発信しています。 ・利用の子ども達が通う学校へもおたよりをお渡ししています。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	11		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	0	・職員は定期的に訓練を行っている。 ・子ども達は長期休みを活用し、また必要に応じて訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	・ヒヤリハットなどは、屋礼や様々な報告の場での情報共有、または口頭だけでなくその時々の方で行う事を心掛けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	・公的機関で行われる研修への参加、法人内・事業所内での研修に取り組んでいます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11	0		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 さくら（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 20日		R8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフが共通理解をはかった上で、将来を見据えての支援を心掛けているところ。	・一人ひとりが目指すモノ・自立を確認しながら進めています。 ・日頃から様々な面での気づきを大切にしています。	・将来像を描きやすくするための工夫を行っています。
2	・支援内容が幅広く取り組んでいるところ。	・日常生活上のことはもとより、様々な分野において考えられる事を取り上げ、取組んでいます。	・日常生活の中から考えられる取り組みから、視野を外に向けて、更に幅広く取組んでいます。
3	・利用児の年齢層が幅広くあるため、それぞれの成長過程をお互いで感じ合いながらの関りが出来ているところ。	・集団での活動の取り組みや自由な時間において、色々な人と関わる機会を作っています。	・集団遊びの充実を図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援事業所 さくら（保育所等訪問支援）					公表日	R 8年 3月 31日			
					利用児童数	1		回収数	1	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。				○		<ul style="list-style-type: none"> ・「保育所等訪問支援」について周知が不十分なところがある為、面談時や必要を感じた際に丁寧な説明を心掛けたいと思います。 ・訪問の依頼が出た際には、状況をしっかり確認し、依頼の理由を丁寧に聞き取るようにします。 			
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	○								
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	○								
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	○								
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	○					<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の状況に応じ、訪問支援員を柔軟に配置します。 ・依頼された側の思いや要望等を理解した上で、状況に応じた支援計画の作成に努めます。また、担任の先生などにも状況の確認をしっかりとるようにします。 			
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				・相談をした際に、アドバイスやこれからについて話を受けました。				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○				・相談した内容が反映されていると思いました。				
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	○								
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○								
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○								
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	○								
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から、また面談などを通して、保護者の方から情報をいただき、スタッフ間での情報共有のもと、丁寧に支援につながっていくようにします。 ・相談や報告いただいたことはスタッフ間で共有し、解決や解消に努めていきます。 ・訪問後は気付いた事や感じた事を確実に報告し、その後の支援に取り入れています。 			
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○								
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。					○				
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	○				・尋ねたり相談したりすると応えていただきました。				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○				・面談などで話が来ています。それ以外にも助言いただいています。				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○								
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○								
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○								
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	○									

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	○				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	○				・訪問後に様子についてや今後についてなど、教えてもらっています。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				○	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	○				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	○				
	28	事業所の支援に満足していますか。	○				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 さくら（保育所等訪問支援）		公表日		R8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・様々なご意見を真摯に受け止め、これから繋げていくようにしています。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・屋礼の場や様々な機会を通して把握する様心掛けています。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在、第三者評価機関による評価は未実施であり、今後進めていくようにしていきたいです。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・屋礼の時間を通して、子どもの状況確認・保護者の意思確認・現状確認などをできるだけ行うよう、時間の確保に心がけています。		
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・対象児の様子を確認し、保護者のニーズや思いを確認した上で、保育所等訪問支援計画書の作成を行っています。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・スタッフ間での状況確認を行い作成に繋がっています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		・訪問先の担当者と訪問前に状況や考えを確認した上で、作成を行っています。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終了後に支援内容の振り返りを行っています。また、他職員への報告等を行うと同時に、必要に応じて確認等を行っています。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・こちらで知り得ない情報や方法に関しては、状況によってはお尋ねさせていただき、情報共有の一つと考えています。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		・記録は徹底して取っています。そこから検証などに繋がっています。		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○		・基本的には要望に応じたところでの進め方になっているので、事業所側からも確認等を行うように進めたいと思います。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			・移行支援会議を通して情報共有を行っています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			・圏域で当番制にしているので、確実に情報共有をし、参加の形をとっています。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			・送迎時・連絡帳・電話・LINE等様々な方法で共通理解を図っています。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・ペアレントトレーニングの研修は受けていますが、保護者の状況からまだ行えていません。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			・保護者や子どもの様子、相談等で発信された事項に関し、聞き取りを中心に進め、その状況に応じ支援援助などを行うよう心掛けています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			・おたよりを毎月発行し、行事予定や事務的連絡事項、子どもの活動の様子・スタッフの想いなどを発信しています。・利用の子ども達が通う学校へもおたよりをお渡ししています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先施設への説明等	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			・訪問時に訪問先の先生方と話をするなどして意見交換や確認等は行っているが、実施後には行えていない為、改めて時間の調整を行っていきたいと思う。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			・訪問内容に関する報告を、訪問後速やかに行っています。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員は定期的に訓練を行っています。 ・子ども達は長期休みを活用し、また必要に応じて訓練を行っています。 	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットなどは、昼礼や様々な報告の場での情報共有、または口頭だけでなくその時々の方で行う事を心掛けています。 	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内・事業所内での研修に取り組んでいます。 	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日
児童発達支援事業所 さくら（保育所等訪問支援）	R 8年 3月 31日
	利用児童数
	R8年 3月 10日 回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		・事業所でのことが知れてよかったです。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での様子だけでなく学校での様子を知ることで、今後の支援に繋がっていききたいと思います。 ・学校だけ・家庭だけでなく、関係機関が情報を共有しながら一緒に取り組んでいく事の大切さを改めて感じました。 ・学校だけでは難しい点を確認し、事業所での取り組みに反映させていきたいと思っています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		・知識・技能的な事は今回は特にはありませんでした。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	<input type="checkbox"/>			・事業所での様子やご家族の思いについて、話せる範囲で教えてもらいました。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	<input type="checkbox"/>			・一緒に進めていく方向性が見えてきました。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	<input type="checkbox"/>			・学校での様子を知ってもらえたので良かったです。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 さくら (保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 20日		R8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R8年 2月 10日		R8年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	R8年 1月 31日		R8年 2月 22日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・日頃より関係機関とは連携をとるよう心掛けている事。	・担任の先生に許可を受けた上で連絡ノートを共有し、学校での様子をノートを通して確認出来るようにしています。また同時に学校側にも事業所での様子をお伝え出来るようにしています。	・連絡ノート共有での情報共有にとどめず、必要に応じては直接的に、また、会議や様々な場面でより一層の情報共有に努めています。
2	・併用事業所での様子については可能な範囲で保護者の方から情報をいただいたり、併用事業所や学校での様子を確認するなど、情報共有や連携に努めている事。	・面談の場だけでなく、普段から利用児の事について情報収集に取り組み、支援へと繋げていくようにしています。	・関係機関での連携会議などの機会を持ちながら、相互で支援に繋げていけるようにしていきたいと思っています。
3	・「いつでも来てください」の気持ちでいる事。	・「いつでもどうぞ」「何かあればどうぞ」の気持ちを持ち、保護者の皆様へはもちろん、関係している機関とは気軽に話が出来るように、子どもを知っていただくようにとお声掛けをしています。	・保護者の皆様に、子どもの頑張りについて見ていただく・感じていただく時間を柔軟に作れたらと思います。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先の状況を確認する事が主となり、「知識・技術」について伝える機会があまりなかったように感じる事。	・訪問をすることで知り得たことを事業所内での支援に繋げていくようにしていますが、その事で終わっていた部分もあったように思います。	・訪問先の担当者との情報共有の他、目標や役割分担(それぞれの取り組み)についての確認する事が大切だと考えます。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ほのか（放課後等デイサービス）
------	-----------------

公表日 R 8年 3月 31日

利用児童数 61

回収数

50

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	46	3		1		・指定基準に基づき活動スペースを十分に確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42			8		・基準に基づき職員の配置を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	49	1				・入口から室内とバリアフリー化になっています。今後はさらに、構造化等の視覚支援を意識した空間を検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	50					・療育の前後に清掃・消毒等を行っています。また、活動に合わせて環境設定も行っていきます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	48	1		1		・一人ひとりに合わせた発達段階や特性、ニーズを共通理解して安心して過ごせるように努めています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	49			1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	50					・保護者の皆さんから頂いたアセスメント、発達検査、保護者のニーズ、療育中の様子を含めて作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	49			1		・利用児童の発達状況を踏まえた上で「本人支援」「家族支援」「移行支援」について必ず設定し、の必要な支援内容を具体的に記入しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50					・活動前後のミーティングで利用児童の支援内容や具体的な方法を確認しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	46	2		2		・個別課題・集団活動のプログラムを通して対人関係に必要なスキルを高める活動等を取り入れています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	37	3		10		・近隣で買い物練習したり、地域のボランティアにより、読み聞かせ、演奏会に参加し当事業所を知って頂く機会となりました。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	50					・契約時に説明するとともに変更が生じた場合には、その都度、周知するように努めています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	48	2				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	50					・12月～2月（6回）にペアレントトレーニングを外部講師による研修会を実施しました。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	49	1				・送迎時、連絡ノート、電話対応等で利用児童の状況を報告しながら、情報交換と情報共有に努めています。
保護者 への 説明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50					・6ヶ月に1度以上は定期的に面談を行っており、保護者の相談にも対応しています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	49	1				・毎回療育内容や使用教材等をフィードバックしています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	43	2		5		・長期休暇利用説明と合わせて保護者茶話会を行っています。保護者様同士の交流の機会になっております。きょうだい向けの支援や交流会は実施できておりません。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	48	1		1		・相談や苦情窓口は、契約時に重要事項説明書を提示し説明しています。また、事業所以外にも市町村の相談・窓口の情報について記載しお知らせしています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	48	2				・一人一人に合わせたコミュニケーション手段で対応しており、保護者の方々にはLINEやLINEも活用しています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	48	1		1		・毎月1回の定期的なおたよりや臨時のおたよりを発行し、活動の他連絡事項も発信しています。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	50					・個人の記録も鍵付きのキャビネットで保管する等、個人情報の取り扱いについては、十分注意しております。
非常 時 等	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	42	3		5		・玄関先に設置しておりますが、周知や説明を積極的に行っています。マニュアルに基づいた訓練も実施しております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39	3		8		・年間計画とマニュアルに基づき、火災・地震・水害の訓練を行っています。実施後no報告に努めていきます。

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか	46	2		2	・安全計画に基づき、室内・外の点検を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	45			5	・迅速な対応を行っています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	50				・保護者様、利用児童共に寄り添い、安心できる環境作りと療育に努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	50				・今後も利用児童が楽しく過ごせる場所であるように、職員一同努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	50				・今後も、当事業所の支援に満足していただけるように、専門性を学び、より良い療育を職員一同励んでいます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ほのか（放課後等デイサービス）		公表日	令和 8 年 3 月 31 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・利用児童数や活動内容に応じて、複数の部屋を使い分けています。利用児童が落ち着くことができるスペースも確保しています。	・引き続き、安心安全な環境作りを行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・人員配置基準に加配して職員を配置しています。学習だけではなく必要に応じて自由時間にも個別が対応できるように努めています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		・入口/室内とバリアフリー化になっています。構造化等の視覚支援に努め安全で過ごしやすく安全な環境づくりを心がけています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・清掃、消毒を行い清潔な環境づくりに気をつけています。部屋が複数あるため、活動内容に応じて使い分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		・クールダウンや感覚過敏、体調不良等の対応として個別の部屋を使用できることを利用児童に伝え対応しています。	・引き続き、安心安全な環境作りを行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		・今後も、引き続きスタッフのミーティングを定期的に行い、よりよい支援ができるように業務改善に活かしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・職員会議で意見交換を行い、検討・改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		・保護者様と事業所内での評価のみになっているため、関係機関や保護者の見学時は積極的に意見を聞くようにしています。	・今後は、検討していきたいと思えます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・法人内研修、外部研修に参加し、研修で学んだ内容を事業所内でフィードバックを行っています。	・引き続き職員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・支援プログラムを作成し公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		・保護者の方にご記入いただいたアセスメントや聞き取りを基にニーズや課題を把握し、個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・支援に関わる全スタッフで情報共有のもと計画を検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・職員間で情報共有やケース検討を行い、共通理解のもと支援の質の向上に努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・記録や職員間での情報共有を行い、多方面に子どもの様子を確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・定期的なアセスメントを行い子どもの状況や保護者のニーズを把握しています。本人、保護者のニーズに合わせて、本人支援、家族支援、移行支援、地域連携の支援から支援内容を整理しています。子どもの課題や強みに応じた付帯的な目標を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・利用児童の特性に応じ小集団やSSTのプログラムを職員間で検討・共有し、振り返りを行い計画・実行・改善につなげています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		・個別課題や集団活動、季節の制作活動などを取り入れ、児童の興味や発達段階に応じて活動が固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		・個別活動では課題に集中して取り組む時間を設け、集団活動では他者との関りを通して社会性を育む支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		・毎日子どもの来所前に職員会議を行い活動内容や前回利用時の様子を共有し、役割分担を確認し連携して支援を行っています。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		・記録入力後にミーティングを行い、内容は共有ファイルに入力し、全職員が必ず確認できるように徹底しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		・日々の支援記録を徹底し、記録漏れがないように確認しています。共有ファイルに記録し、全職員で確認できるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・半年毎にモニタリングを実施し、児童の状況に踏まえて支援計画の見直しを行い、必要に応じて適切に対応しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10		・日常生活動作の支援や創作活動、余暇活動等を組み合わせながら支援を行っています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	10		・活動内容を説明し、自分で選択できる機会を設けています。状況に応じて別の活動も提案し、自己決定できるように支援しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		・開催されてる会議には、児童発達支援管理責任者が出席しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		・必要に応じて関係機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		・学校と年間計画や行事予定、下校時刻などの情報共有を行い、必要に応じて送迎時の対応や面談への参加なども連携を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		・必要に応じて情報共有をおこなっています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		・今の所、該当者はいませんが支援内容の情報共有を行うようにします。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	10		・定期的な交流の機会は設けていないが土曜日、長期休暇、又は学校閉校日に地域の店舗へ買い物体験や地域の公園での活動を通して、関わる機会を設けています。	・今後は、検討していく必要があると思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10		・児発管が参加しています。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		・面談時、送迎時に日頃の療育内容を詳しくお伝えしています。保護者様と一緒に共通認識を持ち全スタッフに共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		・今年度は、12月～2月に全6回実施を行いました。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		・契約時には、運営規定や支援内容、利用者負担について丁寧に説明し、必要に応じて随時説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・支援計画作成時に児童や保護者の意向を確認する機会を設け、意見を踏まえて計画を作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		・放課後等デイサービス計画を提示し、支援内容を説明した上で保護者の同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・保護者からの子育てや支援に関する相談に応じ、必要に応じて面談や助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10		・長期休暇前の説明会後に、保護者交流会を実施し、保護者同士の交流会を設けています。	・兄弟児の交流については今後検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・苦情対応の体制を整え、保護者へ周知するとともに、苦情があった場合は迅速かつ適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		・活動予定をお便りで発信しています。また、活動後には玄関先にて、活動内容・目的などをホワイトボードに記入しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・個人情報は鍵付きのキャビネット管理し、取り扱いには十分注意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・児童や保護者の状況に応じて、分かりやすい説明や伝え方を心がけ、意思疎通や情報伝達に配慮しています。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		・敷地内で行われる（文化祭・もちつき・演奏会・絵本の読み聞かせ）などの行事を通して地域住民と交流する機会を設けています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・各種のマニュアルを整備し、職員へ周知するとともに発生を想定した訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		業務継続計画を作成し、定期的実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		・アセスメント時に服薬や発作の有無など児童の状況を確認し、必要に応じて聞き取りを行っています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		・アレルギーに関しては、保護者様から情報をもち職員間で共有し全スタッフが確認できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		・安全計画を作成し安全管理に必要な訓練や研修を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・危険な事例があった場合は、報告書に記載し、ミーティングで職員間で共有し再発防止について検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・職員を対象に虐待研修を実施し、日々の関わりの中でも職員同士で言動や対応を振り返りながら、虐待防止に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		・職員を対象に身体拘束に関する研修を行いました。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほのか（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R 8 年 1 月 13 日		～ R 8 年 1 月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	R 8 年 2 月 11日		～ R 8 年 2 月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	R 8 年 3 月 23 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育士・児童指導員・専門職が連携して、児童一人ひとりの特性に応じた療育を行っている。	・日々の活動や集団活動における児童の様子を定期的に振り返り、職員間で連携して支援の方法を調整しています。	・集団活動における児童の自己選択や自己決定の機会を増やし、個々の成長に応じた支援の幅を広げていきます。
2	・個室やクールダウンできる専用の部屋を複数設置しており、児童が落ち着いて過ごせる環境を確保している。	・児童の状態や気持ちに応じて、個室やクールダウンできる部屋の利用を柔軟に対応しています。 ・利用時には職員が近くで支援や見守りを行い、安全かつ安心して過ごせる環境を整えています。	・児童自身が自分で落ち着きたい時に選択できる仕組みを整え、自己調整力の育成につなげていきいと思います。
3	・年間を通して演奏会や絵本の読み聞かせなどの行事を実施し、地域住民との交流の機会を確保している。	・音楽や絵本などの行事を通して、児童が地域の方と自然に触れ合える場を設けています。また、児童が興味を持ちやすい内容やタイミングを工夫し、活動への参加意欲を高めています。	・交流の機会をより増やし、児童が音楽に触れる体験を定期的に提供できる仕組みを整える。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流活動が十分に実施できていない。	放課後利用が主となる事業所においては、保育所等との時間調整が困難なため、計画できなかった。	・地域資源を活用した交流の機会を増やして行く必要がある。地域の子どもの関わりや実際に地域の店舗を利用した買い物学習を取り入れることで、社会性や対人関係の力を育む機会を確保していく。園外での経験を通じた実践的な学びを充実させ、交流活動の質の向上を図っていく。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ゆいまーる（児童発達）					公表日	令和8年3月31日					
					利用児童数	5名		回収数	5名			
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5				元々少人数での利用で使われていると思うので、十分なスペースだと思います。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4	1			マンツーマンでご対応していただけて安心です。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			1	そこまで詳しく見れたことがなく、分かりません。	保護者交流会等で事業所内を見学していただき、実際に過ごしている環境が確認出来る機会を設けるようにします。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4			1	事業所を見たときは整頓されていました。	保護者交流会等で事業所内を見学していただき、実際に過ごしている環境が確認出来る機会を設けるようにします。				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				1	各分野の専門の方がいらっしゃって安心です。				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4				1					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					長期的・短期的目標をそれぞれ設定していただけてありがたいです。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	1								
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					丁寧にしていただきました。リハを中心に親の意向に沿って進めて下さります。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				1	日常以外のイベントや野外活動など様々だと思います。				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		2	2			同法人内の児童事業所と交流を図る機会を設けるよう計画を行います。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					面談の際に詳しく説明がありました。				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					面談の際に詳しく説明がありました。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1				子供と一緒にの機会がもっと増えると嬉しいなと思います。	保護者交流会等で家族と一緒に発達支援を行う機会を設ける事を検討します。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	5					情報共有を丁寧に受け、発信していただいています。				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5					面談希望に対しても対応してもらえています。				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				1	問題に対して職員と一緒に問題解決しようと寄り添ってくれています。				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5					参加出来ていないが、定期的に案内はあっている。				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					お願いや相談事はいつも迅速に対応してもらっている。				
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					迎えの時に、一日の様子を何も伝えてもらえない方がいる。 LINEでのやりとりにより、手間が省けています。	お客様の一日の様子をお手帳、お迎え時に報告を徹底して行います。			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4				1	毎月楽しみに読んでいます。データ化されると離れている祖父母にも送れて、尚いいなと感じています。				

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				留意されて欲しいです。 共有する際は事前に確認をしてから共有されている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			2	マニュアルに関しては分からない部分もあります。	再度、各マニュアルの説明を行い、家族に対して周知を定期的に実施します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			2	訓練に関しては分からない。答えようが無いです。	避難訓練の実施日、行程を文章等で周知を行い、実際の災害時の避難行動の一助となるよう取り組みます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1	連絡体制なども整っていると思う。	事故等が発生した場合の対応マニュアルを職員で確認を再度実施し、速やかな連絡、細やかな対応を実施します。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5				朝から喜んでいます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4		1		朝から喜んでいます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				満足ではありませんが、スタッフさんが一生懸命に接してくださって良い。感謝の日々です。欲を言えば色々なことにチャレンジさせていければとも感じています。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ゆいまる（児童発達）		公表日		令和8年3月31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用者様の状況により、その都度配置を考慮し、危険のないよう工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	医療的ケアが必要なご利用者様には看護師が対応し、安心して活動できるようにしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		利用者様の障がいの特性に応じた環境設定を心掛けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		利用者の人数に応じて各フロアを活用し、安全、安心して過ごして頂けるよう配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	集中出来る環境作りを心掛け、必要に応じて仕切り等で個別空間を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		PDCAサイクルの実践を積極的に行い、何が問題点なのかを職員全体で課題として取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		自己評価結果をホームページ上で公表します。また、お便りや保護者交流会でお伝えします。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	第三者評価は受けておりませんが、監査による指導を受けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		各職員がスキルアップの為、研修に参加出来る機会を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	支援プログラムは本年度より公表しています。	職員に対して支援プログラムの周知を再度実施します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		利用者様、家族様のニーズを盛り込み、各職員の意見を客観的視点とし、児童発達支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		各職員が児童発達支援管理責任者と連携して情報共有を行い、都度検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		課題の整理表を作成し、発達支援、家族支援、地域支援の各項目ごとに課題や目標を設定し支援内容を計画しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		週の活動プログラムに2名の担当により立案し、保育士の指導を受けながらチームで実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節行事やお客様個人に合わせた活動の提供を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	当日ではないですが、翌日の朝礼時に前日の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の療育記録の徹底と保護者様に確認して頂き、コピーをお渡ししています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		疾患の進行も含め、細かい変化に対しても他事業所、医療機関との連携を図っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		併行利用事業所との情報共有を密に行い、利用者様に必要な療育の提供が出来るようにしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3		地域の児童発達支援センターと連携し、助言を受ける機会を設けるようにします。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	3		感染症のリスク管理を行いながら、同法人内の保育園との交流が出来るよう努力していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時等で家族様と伝えあうようにしています。又、連絡帳等で情報共有を図り、家族様との共通理解に努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	ペアレントプログラム研修を受け、研修で学んだ内容を療育現場で活用します。	保護者交流会以外にも家族が参加出来る機会を設けるようにします。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的に面談を実施し、利用者様、家族様の意思や希望を聞き、児童発達支援計画作成時に優先考慮の観点を踏まえて取り組んでいます。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	令和7年度は7月、11月に保護者交流会を開催しました。保護者同士の交流を行う事も出来、とても有意義な時間でした。	きょうだい支援の機会を設けるようにします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	ゆいまーる便りを定期的に発信し、お客様に活動の様子等を伝えています。	

非常時等の対応	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	今年度は地域住民を招待する等の行事は実施出来ませんでした。	地域住民との交流も含めて計画を行います。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを作成しており、年2回の避難訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPの研修を事業所で取り組み、災害時も速やかに業務継続に向けてどのように行動するかを職員で申し送りを行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年1回の研修、チェックリストを実施し虐待防止の意識を高めています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体状況や精神状況にて必要に応じては利用者様、家族様の同意を得て、児童発達支援計画に記載をします。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆいまーる（児童発達）		
○保護者評価実施期間	R8年2月2日		R8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	R8年2月2日		R8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様に寄り添った1対1での発達支援に取り組む事が出来ており、利用者様、家族様のニーズや課題に対しても客観的視点を含めた中で対応する事が出来ていること。	1人ひとりの障がい特性を理解し、個別に必要な学習、生活動作の練習、獲得等に取り組んでいます。利用者様、家族様のお話を傾聴し、出来る事、希望に対しての取り組みを積極的に取り組んでいます。	各職員の研修等への参加にてスキルアップを図り、さらにより良い支援が出来るようにします。利用者様、家族様に寄り添う事を継続し、目標達成を支援します。
2	医療的ケアが必要なお客様に対しても対応が可能であること。	家族様と情報共有を密に行い、主治医の指示書に沿って医療的ケアを看護師が実施しています。些細な体調変化に対しても家族様と確認を行い、いち早く体調の変化に対応が出来るようにしています。	主疾患の状態、服薬状況等も日々変わってくる事が有る為、今後も家族様との情報共有を密に取り組み、利用者様、家族様が安心して医療的ケアを受ける事が出来るよう支援致します。
3	ご利用者の情報共有を密に行う事が出来ている事。	送迎時の会話や連絡ノートでの情報共有や、日々の発達支援状況報告等を細やかに取り組んでいます。成長の瞬間、状況を家族様と共有する事で利用者様の今後の発達支援についても目標設定を相談し、寄り添う事を心掛けています。	利用者様、家族様に寄り添う事を継続し、安心、満足してご利用頂けるよう努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。又、きょうだい向けのイベント等できょうだい同士の交流の機会を設ける事が出来ない。	保護者交流会は年2回開催しています。今年度はスケジュールは早期に家族様に提案し、開催をしましたが参加率が低い状態を大きく変える事が出来ませんでした。きょうだい向けのイベントは企画する事が出来ませんでした。	保護者交流会の開催時期、開催時間も含め検討を行い、少しでも参加人数を増やしたいと思います。保護者交流会の内容は家族様が知りたい情報を取り入れ、有意義な時間が提供出来るよう企画します。きょうだい向けのイベントについては家族様と相談しながら企画を検討します。
2	地域の他の子供と活動する機会が少ないこと。	スケジュール調整や活動の設定が難しく、なかなか計画出来ない状況です。	まずは、同一敷地内にある事業所を利用している児童との交流の機会を設定し、コミュニケーションを図りながら、活動内容の充実にも努めていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ゆいまーる（放課後等デイサービス）					公表日	令和8年3月31日	
		利用児童数	8名		回収数	6名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5			1	職員配置について説明を行い、安心してご利用出来るようにします。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			1	活動プログラムが固定化されないよう、各職員の意見も取り入れながら計画を行います。	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3		1	2	イベントにて同法人内の保育園児や障害福祉事業所の児童と交流が出来るよう計画を行います。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		1		保護者交流会以外でも家族が参加出来る機会を設ける事を検討します。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	6					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5			1	利用者様、家族様と共感出来るよう、寄り添った支援を行います。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2		1	3	きょうだいへの支援する機会を設けます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5			1	情報発信を定期的に行い、家族様にも情報発信の時期等を伝えます。		

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			2		災害訓練時期、内容について家族様にも事前に周知します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1		事故等が発生した場合は速やかに家族様に連絡をし、対応についても細やかに対応を行います。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6					
	29	事業所の支援に満足していますか。	6					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ゆいまーる（放課後等デイサービス）				公表日	令和8年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		利用者様の状況により、その都度配置を考慮し、危険のないよう工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	医療的ケアが必要な利用者様には看護師が対応し、安心して活動できるようにしています。	今後も安心して利用者様、家族様をご利用出来るよう努力します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		利用者様の障がいの特性に応じた環境設定を心掛けています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		利用者様の人数に応じて各フロアを活用し、安全、安心して過ごして頂けるよう配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	集中出来る環境作りを心掛け、必要に応じて仕切り等で個別空間を提供しています。	環境設定を都度検討し、安心して活動、過ごす事が出来るよう配慮します。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		PDCAサイクルの実践を積極的に行い、何が問題点なのかを職員全体で課題として取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		自己評価結果をホームページ上で公表します。また、お便りや保護者交流会でお伝えします。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	第三者評価は受けておりませんが、監査による指導を受けています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		各職員がスキルアップの為、研修に参加出来る機会を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	支援プログラムは本年度より公表しています。	職員に対して支援プログラムの周知を再度実施します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		利用者様、家族様のニーズを盛り込み、各職員の意見を客観的視点とし、児童発達支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		各職員が児童発達支援管理責任者と連携して情報共有を行い、都度検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		課題の整理表を作成し、発達支援、家族支援、地域支援の各項目ごとに課題や目標を設定し支援内容を計画しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		週の活動プログラムに2名の担当により立案し、チームで実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節行事やお客様個人に合わせた活動の提供を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	翌日の朝礼時に前日の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の療育記録の徹底と保護者様に確認して頂き、コピーをお渡しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		疾患の進行も含め、細かい変化に対しても他事業所、医療機関との連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	担当者会議等で情報共有を図っています。	今後も会議や担当者にて情報共有を図り、相互理解が深められるよう努力します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		地域の児童発達支援センターと連携し、助言を受ける機会を設けるようにします。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	イベントの際に同法人内の保育園児、障害福祉事業所の児童と参加し、交流する機会がありました。	地域の児童との交流を図る機会を設けるようにします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	積極的な参加が出来ていない状況でした。	今年度は参加に対して計画を行います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時等で家族様と伝えあうようにしています。又、連絡帳等で情報共有を図り、家族様との共通理解に努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	ペアレントプログラム研修を受け、研修で学んだ内容を療育現場で活用します。	保護者交流会以外にも家族が参加出来る機会を設けるようします。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		定期的に面談を実施し、利用者様、家族様の意思や希望を聞き、児童発達支援計画作成時に優先考慮の観点を踏まえて取り組んでいます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	令和7年度は7月、11月に保護者交流会を開催しました。保護者同士の交流を行う事も出来、とても有意義な時間でした。	きょうだい支援の機会を設けるようにします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	ゆいまーる便りを定期的に発信し、家族様に活動の様子等を伝えています。	今後も定期的に情報発信をし、家族様との連携強化を図ります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7	感染リスク等も考えられ、地域に開かれた行事を催す事が出来ませんでした。	少人数からでも地域の方に参加出来る行事を検討し、感染リスクについても安全に実施出来るよう対応を検討します。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを作成しており、年2回の避難訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPの研修を事業所で取り組み、災害時も速やかに業務継続に向けてどのように行動するかを職員で申し送りを行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		職員に対しても安全計画の周知徹底を図ります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年1回の研修、チェックリストを実施し虐待防止の意識を高めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体状況や精神状況にて必要に応じては利用者様、家族様の同意を得て、児童発達支援計画に記載をします。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆいまーる（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R8年2月2日		R8年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	R8年2月2日		R8年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様に寄り添った1対1での発達支援に取り組む事が出来ており、利用者様、家族様のニーズや課題に対しても客観的視点を含めた中で対応する事が出来ていること。	1人ひとりの障がい特性を理解し、個別に必要な学習、生活動作の練習、獲得等に取り組んでいます。利用者様、家族様のお話を傾聴し、出来る事、希望に対しての取り組みを積極的に取り組んでいます。	各職員の研修等への参加にてスキルアップを図り、さらにより良い支援が出来るようにします。利用者様、家族様に寄り添う事を継続し、目標達成を支援します。
2	医療的ケアが必要なお客様に対しても対応が可能であること。	家族様と情報共有を密に行い、主治医の指示書に沿って医療的ケアを看護師が実施しています。些細な体調変化に対しても家族様と確認を行い、いち早く体調の変化に対応が出来るようにしています。	主疾患の状態、服薬状況等も日々変わってくる事が有る為、今後も家族様との情報共有を密に取り組み、利用者様、家族様が安心して医療的ケアを受ける事が出来るよう支援致します。
3	利用者様と、家族様に満足して頂けていること。	送迎時の会話や連絡ノートでの情報共有や、日々の発達支援状況報告等を細やかに取り組んでいます。成長の瞬間、状況を家族様と共有する事で利用者様の今後の発達支援についても目標設定を相談し、寄り添う事を心掛けています。	利用者様、家族様に寄り添う事を継続し、安心、満足してご利用頂けるよう努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ない。又、きょうだい向けのイベント等でのきょうだい同士の交流の機会を設ける事が出来ないこと。	保護者交流会は年2回開催しています。今年度はスケジュールは早期に家族様に提案し、開催をしましたが参加率が低い状態を大きく変える事が出来ませんでした。きょうだい向けのイベントは企画する事が出来ませんでした。	保護者交流会の開催時期、開催時間も含め検討を行い、少しでも参加人数を増やしたいと思います。保護者交流会の内容は家族様が知りたい情報を取り入れ、有意義な時間が提供出来るよう企画します。きょうだい向けのイベントについては家族様と相談しながら企画を検討します。
2	地域の他の子供と活動する機会が少ないこと。	スケジュール調整や活動の設定が難しく、なかなか計画出来ない状況です。	まずは、同一敷地内にある事業所を利用している児童との交流の機会を設定し、コミュニケーションを図りながら、活動内容の充実にも努めていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		児童発達支援事業所 わっご (児童発達)				公表日	R8年 3月 31日		
						利用児童数	54	回収数	45
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	41	4			・庭もあり、サーキットも手作りなど色んな工夫がされていてとても良いと思います。 ・元々が民家の様で、十分なスペースがあるか分からない。 ・区切りがしてあり、集中しやすい環境 ・気持ちの切り替えが難しく、1人になりたいた時1人になれるスペースがあるのが助かる			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	42	1		2	・密接に関わって頂いていると思います。 ・個別の時も少人数の時も療育の様子が細かく書いてありありがたい。 ・一人に対してマンツーマンでみていただけありがたいです。	・定員10名に対し保育士2名の指定基準が設けられていますが、わっごは保育士8名/理学療法士1名を配置しており、1対1の丁寧な対応を行える事が強みだと思っています。今後スタッフのスキルアップを行い、子どもさんに必要な支援、提案を行えるよう努めています。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	3	1	5	・そう思います。 ・入ってはいけない所など視覚で分かりやすい。			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	40	3	1	1	・とても工夫され、良い空間だと思います。 ・清潔にされていると思います。			
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	44			1	・苦手な事などを聞いてもらい、取り組みの中に入れてもらっている。 ・こどもに合わせた支援をしていただいているのもありがとうございます。 ・はい。とても充実していただきありがとうございます。 ・こどもの特性に合わせて対応していただいている。 ・いつも細かく様子を書いて下さって、どこがまだ出来ないとか分かりやすいです。			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43			2	・合っていると思う。 ・はい。連携されていて十分だと思います。 ・合っていると思います。(2)			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	45				・こどもの特性と求めている内容で計画していただいている。 ・伝えた事以上に本人のニーズに合った計画が立てられ取り組まれていてありがたい。 ・作成されている。 ・とてもしっかり一人一人見ていただいております。			
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	43		1	1	・設定されている。個性を感じる。 ・具体的な内容で設定されている。	・4月の事業所説明会においてお話しさせていただいています。計画書にも「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目で記載しております。		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	44				1	・行われていると感じる。		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	43				2	・子どもの発達に合わせた活動をしている。 ・プログラムの内容も順番も柔軟に対応していただいている。 ・毎回とても工夫されていて、成長に合わせてプログラムは工夫されていると思います。		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	24	4	4	13	・私が知らないかもしれませんが。	・登録されている100%の子どもさんが地域の園に就園されており、他児との交流や活動を進められています。十分機会が設けられていると思いますので、当事業所としては個別の療育に重点をおいて取り組んでいます。		
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45				・説明があった。 ・ありました。			
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	3	1		・ありました。			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	44				1	・行われている。 ・家族療育などの機会を設けていただいている。	・ペアレント・プログラムについては、今年度も、年中・年長児の保護者を対象に案内・実施しています。また、外部より案内があった研修会については随時各ご家庭にお知らせしております。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	41	3		1	・お迎え時やlineで情報共有できている。 ・送迎の際に話す機会を設けていただいています。 ・利用日に都度情報を共有できている。 ・十分に伝えていただいております。共通理解できていると思います。	・送迎を希望されているご家庭が多く、直接お話をする機会が減っております。家族療育や、茶話会などを通じてご家族と直接お会いする機会を増やし、共通理解を深められるよう努めます。是非ご参加ください。また、ご不安やご心配などいつでもご相談ください。		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	3		2	・相談できている。 ・日ごろの会話から行っています。 ・行われており、ありがたいです。	・不安、心配、子どもさんの変化など小さなことでもご連絡ください。ご家族からの発信を見逃さず、丁寧に対応できるよう努めます。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	2		1	・共感的助言をもらっている。(2)			

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	35	2	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会やお茶会などあり、とても良いと思います。 ・保護者間でも交流の機会を設けていただいている。 ・兄弟同士については分からない。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所をご利用のご家族を対象に【茶話会】を開催しております。今年度は【勉強会】2回【保護者交流会】1回実施しております。次年度も、充実した茶話会を開催していきたいと思います。また、きょうだい同士の交流の機会が設けられるようなイベントも次年度は計画していきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	41		1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園との関わり、情報共有などすぐ対応していただいた。 ・相談や申し入れをしたことがないので分かりません。 ・迅速に返信してもらえて助かります。 ・とても適切に対応されていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談の申入れがあった時にはご家族の希望日時に沿えるよう調整しています。対面だけでなく、ご希望があれば、電話、オンラインでの相談も対応しております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43		1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とても詳しく伝達していただいています。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	42			3	<ul style="list-style-type: none"> ・発信されています。 	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	42	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・されていると思います。 	
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	39	1		5		<ul style="list-style-type: none"> ・すべてのマニュアルを作成しております。また、発生を想定した訓練も行っております。BCP(事業継続計画)についてはおたよりに掲載しています。マニュアルについては保護者の皆様への周知方法を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39			6		<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害発生に備えた避難訓練を年2回行っております。訓練の様子はおたよりでお伝えしています。また備品についても定期的に確認を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	42		1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・支援の安全管理に関するガイドラインに沿って安全計画を作成しています。また、送迎車(3列シート以上の車両)には車内置き寄り防止安全支援装置を設置しております。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1		10	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ事故等ないので分かりません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故(怪我)発生時の対応については、速やかな連絡および状況説明に努めていますが、対応に十分でない事例があり、課題として認識しています。現在は事故発生時の対応マニュアルに基づき、職員間での共有を徹底するとともに発生時には速やかに保護者へ連絡・説明を行う体制の強化に努めています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	45				<p>【27に対するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しみに通所しています。親も安心して通わせることができているありがたい限りです。 ・家で遊び物遊びをする時、どこ行くの？と聞くと「コスモス行って、わっご行って…」と言うので、安心感をもって通っているんだと思います。 ・毎回楽しかったと帰ってきてくれます。ありがとうございます。 	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	42	3			<p>【28に対するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日「今日わっご？」と聞くくらい楽しみにしています。 ・とても楽しみに通所しています。 ・通所日ではない日も行きたがるほど楽しみにしています。 ・車から降りると一目散にドアに行き開けて入って行きます。 ・喜んで通っています。 ・わっごに行くのをすごく楽しみにしています。 <p>【事業所より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムにおいては、現状を見極め楽しみながら学ぶ場の設定を心掛けています。 ・教材も、個々の興味のある物から作成し、興味を持って取り組めるように工夫しています。 ・たくさんの「できた」「達成感」を感じられるような活動設定に努めています。今後子ども達に「楽しかった！」「また来たい！」と感じてもらえるよう努めます。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	45				<p>【29に対するご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大満足です。ありがとうございます。 ・わっごさんに通えた事、紹介してもらって、とてもよかったです。これからもよろしくお願ひします。 ・とても満足しています。わっごさんに通わせることができ相談支援事業所さん含めわっごさんにはとても感謝いっぱいです！いつもありがとうございます。 ・私が気付いていなかった子どもの面を見つけてくださり嬉しく思いました。 ・いつも感謝しています。ちょっとした成長でも私はすごく嬉しいですよ！！ ・職員さんの対応も良く、子ども一人一人をしっかりと見てくださり、向き合ってもらって大変満足です。 ・保育園行事の参加を考慮してくださったり、子どもの喜びを優先して頂き、感謝しています。 ・とても満足しています！ ・安心して行けています。ありがとうございます。 <p>【事業所より】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心温まるご意見ありがとうございます。療育内容については子ども達が楽しみながら取り組めるように工夫しています。子どもたちの「楽しかった」「またやりたい！」の感情は「チャレンジする気持ち」を育みます。今後も様々な経験が積めるよう、活動を設定していきます。 ・様々なご意見を頂きながら、よりご家族のニーズに寄り添った支援を行ってきたいと考えています。今後も質の向上に努めます。 ・がんばりすぎず、あきらめず、一步一步ゆっくりと。無限の可能性を広げていきます。 	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所 わっご (児童発達)		公表日	R8年 3月 31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・部屋数も多いため、活動場のスペース確保ができています。また、活動内容(個別・集団)に合わせて、環境設定も随時行っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・定員10名に対して保育士2名の配置基準以上の配置を行っている。保育士8名理学療法士1名が勤務しており、利用児童の特性や発達状況によって個別での対応が可能になっている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9		・個々に合わせた構造化も工夫している。	・段差などがあり、完全なバリアフリーではないが、児童の状況に合わせた環境設定を行っている。今後も利用児童に必要な環境設定は都度行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・活動毎のスペースを確保し、シンプルでやるべき事が分かりやすいよう工夫している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・部屋数も多いため、活動場のスペース確保ができています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・職員会議を開催し、業務改善に向けての検討を行っている。 ・スタッフ同士が発信し合える雰囲気づくりにそれぞれが努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・年度末に評価表を配布し、年間を通しての評価を頂いている。 ・ご家族からの意向はスタッフ間で伝達を行うようにしている。	・評価表のご意見を基に、次年度以降取り組んでいくべき課題をスタッフ間で共有し、在り方を検討していく。 ・ご家族、利用児童に満足頂けるよう、支援の質の向上を図っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・オンライン研修ではスタッフ全員が受講できるよう、時間確保に努めている。	・オンライン研修も増えてきているので情報収集し、積極的に参加していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・支援の「5領域」を網羅した支援プログラムを作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・利用児童の現状とかけ離れた計画にならないよう、担当スタッフとの現状共有に努めている。	・アセスメントに関しては、相談支援事業所からの情報を共有し、事業所では、更に細かなアセスメントを行い、子ども主体(利用者主体)の計画書を作成するように努めていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・固定されたスタッフだけの視点ではなく、他スタッフの様々な視点で子どもの支援に関わるようにし、意見を求めるようにしている。	・計画書は常に確認できる記録ファイルにも綴じておく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・担当スタッフと、児発管で会議を開催し、共有している。	・会議実施が定着していないので、定着を目指す。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・児童発達支援ガイドラインに基づいた「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」で示す計画作成を行っている。 ・本人支援(5領域)について書面化している。	・今後も児童発達支援ガイドライン、計画相談支援事業所支援計画に基づき、計画作成に努めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・活動プログラムは、子どもの状況をスタッフ間で共有し、プログラムの設定を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・楽しみながら取り組めるような活動設定を心掛けている。	・様々な情報にアンテナを張り、事業所で取り入れられる活動プログラムを開拓していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・特に小集団活動を行う時には、活動参加に対する、個々の目標設定を行い、支援の程度も検討し計画を作成している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・支援に当たってはスタッフの担当制を取り入れ、それぞれのスタッフで活動や目標設定、振り返りを密に行っている。支援前後にはスタッフ間でミーティングを行い、連携している。 ・児童発達支援責任者においては日ごとのミーティングやモニタリング時の状況から情報収集しており、利用児童について把握し担当スタッフと連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・写真も添え、誰が見ても分かるように記録している。また、経過が分かるようにチェック表も作成し、活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・定期的に見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児童発達支援管理責任者、担当スタッフの2名体制で参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・就学後も1学期間は保育所等訪問支援の契約を継続して頂き、入学後の困り感にも対応できるようにしている。	・学校によっては、入学後の移行支援会議を希望されるところも多く、今後も随時対応していく。 ・保育所等訪問支援事業の周知を図る。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		・圏域の事業所スタッフ向けに行われる研修会に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		9		・登録している100%の児童が園に就園しており、交流や活動を進めているので、当事業所としては個別の療育に重点をおいて取り組んでいる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・お迎えに来られた保護者に対しては、取り組んだ教材を実際に見て頂きながら目的と様子、今後の課題についてお伝えしている。また、連絡ノートでは写真やコピーを活用して利用児童の様子が伝わりやすいように工夫している。	・事業所利用時の送迎希望が増加しており、ご家族と会う機会が減っている。面談・モニタリング時に現状や今後の課題についてお話しするが共通理解が出来ているかは曖昧なケースもある。連絡ノートやラインでの相談や困り感に対して、確実に返答対応を行い、定期的にやり取りできるツールを検討していきたい。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		・令和6年度から講師を招き、ペアレント・プログラム講座を実施している。 ・今後、事業所スタッフが講座を開催していくために、講師認定のための研修を受講している。		
保護者	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・事業所見学時や契約時にイラストを使用し、分かりやすく説明できるよう工夫している。	・支援プログラムについては随時ご家族に周知していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			・子どもの意思確認ができるツールを作成し、子ども自身の意思を確認できるようにする。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		・就学後のご家族にもお声掛けし、学校選びや生活について、就学前のご家族と情報交換を行う場を設けている。	・次年度、きょうだいを対象としたイベントなども検討していきたい。

への説明等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・対面だけでなく、電話、オンラインでも対応できるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		・利用児童が在籍している園にも配布し、事業所で取り組んでいる事を発信している(月1)	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・外部から情報を求められた際にはご家族の同意を得てから提供している。	・配布物の間違いが起らないよう、氏名の2重チェックを行う。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・タブレット/ラインを活用している。 ・配布物が多い時は一度に配布せず、間隔を開けるようにしている。 ・配布するプリントにイラストを入れ、視覚的にイメージしやすいよう工夫している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9		・事業所見学等の依頼があれば随時受け入れている。	・地域を含めた事業所の行事は行っていないが、買い物学習や横断歩道のわたり方などの社会ルールを学ぶ場、利用児が生活し成長していく場として地域を含めた療育に取り組んでいる。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・マニュアルを分かりやすいように、フローチャート化している。	・職員への周知は行っているがご家庭へは周知不足。今後、周知していく。周知の方法を検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・同グループ内に防災委員会が設置されている。 ・同グループ内防災統括責任者による研修会を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・子どもの状況を確認し、対応の方法をご家族と共有している。 ・アレルギーの有無、服薬については利用開始時にアセスメントシートで確認している。また、	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・給食は提供していないが、クッキングや1日療育時にはアレルギーの有無を確認している。 ・摂食に関する療育を行う時には、家庭より持参して頂いている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			・安全計画に基づく取り組み内容について、ご家族への周知を行っていない。今後、周知を徹底していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			・現在対象児童はいないが、対象児童に対しては児童発達支援計画に記載し、保護者の同意を得るようになっている。今後も身体拘束についての研修会を行っていく。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所わっご（児童発達）		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 16日		～ R8年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	R8年 3月 2日		～ R8年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1の個別対応の療育ができる ・就学前に特化した療育を行える 	<ul style="list-style-type: none"> ・人材確保とスタッフのスキルアップ ・多職種連携(理学療法士/言語聴覚士) ・就学後の生活を想定した活動設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な研修の実施 ・支援後のモニタリングと家族へのフィードバックの強化 ・退所後(就学後)のフォロー強化
2	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の状況に応じた柔軟な支援プログラムの設定ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動と集団活動を組み合わせた活動設定 ・利用児が「たのしい」「やりたい」と思える活動設定 ・集団活動時の個々の目標設定、及び支援の程度を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な担当者ミーティングの実施 ・専門的な研修の実施 ・利用児の状況に合わせた新たな活動プログラムの検討
3	<ul style="list-style-type: none"> ・定員10名に対し9名の有資格者が勤務しており、経験年数5年以上のスタッフが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい職場環境づくり ・事業所内研修会の実施・外部研修会への参加 ・2人組の担当制 (スタッフ同士のスキルアップ/入職時のフォローアップ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取り組みを継続

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル等の保護者への周知不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルは作成しているが、保護者への周知を行っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や家族療育、おたより等で周知する機会を設ける ・常時閲覧できるよう、事業所玄関に掲示もしくは設置する
2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎希望が多く、直接会って話をする機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族療育や茶話会を開催し、直接会う機会を増やす ・家族への送迎協力依頼(可能な日のみ)
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所わっこ（保育所等訪問支援）

公表日 R8 年 3月 31日

利用児童数 7

回収数 7

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	5	1		1		・利用児童の支援に合わせて、必要な教具を作成したり準備しております。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6	1				
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6	1				
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	7					・保育所等訪問支援においては、初回訪問後、評価を行い、支援の頻度について検討しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	7					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	7					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	7					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	6	1				
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	6			1		・ガイドラインを確認しながら進めています。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	6			1		
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	6			1		・訪問時は事前打ち合わせを行い、訪問先、利用児童に配慮した支援を心掛けています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	1				・見学・契約時に説明しております。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1	1			・計画書を提示しての説明を徹底していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	7					・訪問支援のみ契約のご家庭には周知不足でした。周知していきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	7					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	7					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7					・相談の申入れがあった時には、できるだけご家族の希望日時を優先できるよう調整しています。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	7					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	6			1		
非 常	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	5	1		1		・支援実施後は、訪問先施設と情報共有を行っています。
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	7					
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	1		1		・自己評価の結果については昨年度よりホームページにて公表しています。

時 等 の 対 応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	5	1		1	
満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6			1	
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	7				・依頼内容、状況によっては、利用児童に気付かれないように観察している事もあります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	7				・より質の高い支援を提供できるよう、専門的な知識とスキルの向上に努めます。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援事業所わっこ (保育所等訪問支援)				公表日	R8年 3月 31日
	No.	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 運 営・ 備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○		・支援に必要な教具を作成・準備している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・依頼内容に応じて理学療法士が同行している。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・児童発達支援の担当スタッフと連携をとっている。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		・保護者のニーズだけでなく、訪問先のニーズも把握し、計画作成に努めている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・訪問目的を明確にし、支援を実施している。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・それぞれ専門職の視点(児童発達支援管理責任者/保育士/理学療法士)で振り返りを行っている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		・訪問先と、どのように支援を進めていくかの打ち合わせを行っている。 ・事前に園の理念や方針をSNSで情報収集している。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・訪問後は毎回モニタリングを行い、訪問頻度も検討し、計画の見直しを行っている。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・支援スタッフと児童発達支援管理責任者の2名体制で参加している。		
21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				

関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○					
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。	○					
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○			・圏域の通所支援事業所の代表者が参加している。情報収集に努める。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○				・今後、事業所スタッフが講座を開催していくために講師認定のための研修を受講している。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○					
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○				・担当者会議時に説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○					
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○					
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○					
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。			○			・訪問支援事業としての保護者会、きょうだい支援を行っていないので、児童発達支援事業と合同で行う等、今後検討していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○					
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			○			・訪問支援事業についての周知を行っていく。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○						
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○					・写真を提示し、情報伝達しやすいようにしている。また、lineで文字に残すなどの工夫を行っている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○					
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○					
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○					・報告書を作成し、訪問時の様子をお伝えしている。報告書には訪問時の写真を貼付し、利用児の様子を具体的に伝えている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○					
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○					
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○					
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○					
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○					
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○					

46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・現在対象児童はいないが、対象児童に対しては、保育所等訪問支援計画に記載し、保護者の同意を得ている。今後も身体拘束についての研修会を行っていく。
----	--	---	--	--	--

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R8 年 3月 31日

児童発達支援事業所 わっこ (保育所等訪問支援)

利用児童数

7

回答数

5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5			<ul style="list-style-type: none"> ・園でも取り入れる事ができるものも多いので勉強になります。 ・学校外の様子を知る事ができ助かってます。 ・児童発達支援事業も利用されており、利用後の様子(児童の行動や活動内容)を伝えてくれたので、分かりやすく日々の関わりに取り入れやすかった。 ・事業所で実践している事を教えてもらい、園でも行いやすいよう工夫した例を提案してもらえる。 ・実際に事業所で取り組まれている事も伝えてくださるので、園でも取り入れる事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業との多機能事業所であるため、連携し継続した支援が可能となっています。事業所とは違う環境(園や学校の現場)で取り入れられるような提案が出来るよう、密な情報共有、信頼関係を築いていけるよう努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5			<ul style="list-style-type: none"> ・様々な声掛けの工夫をされていた。 ・保育士である私とは違う視点での気付きや意見をいただけている。 	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・親切に対応してくださるので、こちらも相談しやすいです。 ・こちらに余裕がなく、質問などをすることがあまりありませんでした。 ・事業所ではどう対応しているのか、児童の様子を尋ねた際、細かく適切に伝えてくれた。 ・子どもに対して正解の対応が中々見つからず、曖昧な回答の時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援においては、試行錯誤する事が多いです。更に情報共有や意見交換の場を設けて、個々に合った支援を一緒に考えていきたいと思っています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・支援のやり方など、自分達だけでは出てこないようなアイデアを頂けたりするので参考になります。 ・文字や数に興味を持つ事で友達とのコミュニケーションが豊富になったり、伝える喜びを味わったりして課題を軽減していった。 ・対応の仕方などは教えていただけたが、課題が解決したとは言い切れないと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より現場で取り入れやすい支援、具体的な支援の提案が出来るよう、スタッフのスキルアップに努めます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に情報交換の機会を与えていただきありがとうございます。 ・事業所からの支援に満足している。 	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・以前に、事業所さんを訪問させて頂き、実際に利用している子がどのような事をやっているかなど見せて頂いたりお話を聞かせて頂いたことがありました。そのような講習会があれば、またぜひ参加したいです。 ・学校に来ていただき、児童の学校での様子を見ていただくことは大切だと想います。来年度も続けていただきたいと思っています。 ・もし、園で行って欲しい活動等あれば教えていただきたいです。 					<ul style="list-style-type: none"> ・今後、より質の高い訪問支援が行えるよう、訪問支援員のスキル向上に努めます。また、訪問先との連携を深め、利用児童がより良い生活を送れるよう、一緒に検討していきたいと思っています。 ・以前行っていた園の先生方向けの勉強会(体験会)の開催も今後検討していきたいと思っています。 	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所わっこ（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	R8年 3月 2日		～ R8年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R8年 3月 2日		～ R8年 3月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	R8年 2月 16日		～ R8年 3月 14日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6	(回答数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・理学療法士を配置しており、必要に応じてより専門的な支援が行える	・多角的な視点での評価 ・専門職だからできる事(体に合った机椅子の作成/調整等)	・他職種との連携及び、定期的なケース会議の実施 ・保育士・保護者向けの勉強会の実施
2	・児童発達支援事業も行っている事業所であるため、連携し継続した支援が行える	・児童発達支援スタッフとの連携 ・児童発達支援の状況も含めた評価	・児童発達支援スタッフとの連携強化 ・支援スタッフのスキルアップ
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援の依頼があった場合、迅速な対応が困難	・限られた人員となっているため ・訪問先との日程調整に時間を要する	・依頼から実施までの手順の明確化 ・訪問先と訪問までの流れについて事前確認を担当者会議時に行う
2	・保育所等訪問支援事業のみ契約のご家庭への家族支援	・周知不足	・児童発達支援で行っている、勉強会や交流会、ペアレントプログラム講座などへの案内を行う
3			